

(別紙4)

事業所名 グループホーム絆

## 目標達成計画

作成日: 令和 3年 3月31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	当グループホームの避難マニュアルを作成し、それに基づき定期的に事業所内で避難訓練を行っているが、停電時の対応として最近導入した発電機の操作や動物を含めた避難など、誰もが操作、誘導できるようになる必要がある。	だれでも発電機が操作出来るようにし、いつ災害が起こっても慌てる事なく避難、誘導が出来るようにする	・点検を兼ねて定期的に発電機の操作方法を確認、テストする ・朝、昼、夜間、土日、と様々な場面を想定して訓練を行う ・訓練の振り返りを必ず行い、不安要素のなくなるまで繰り返し行う	6ヶ月
2	21	気の合う人同士を同じテーブルになるように誘導しているが、異なる生活歴、認知症の症状、価値観を持つ9名が共同生活を送る中で、利用者同士のトラブルや不満を耳にする事も多い。場面を見極めて職員が介入すべき支援が足りていない事が課題と考える	利用者の不満の裏にある本当の思いをくみ取り、トラブルになる前に問題が解決できるようにする	・生活歴や性格、認知症の症状の度合いも含め、誰のどんな場面で事例が起きやすいのか予測をたてる ・予測に沿って、必要な言葉かけや誘導等で必要な介入を行っていく	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。